



## 2年生が教えます! 「学校探検」

6日(金)は、学校探検が行われました。2年生にとっては、教室や特別教室、学校を支えている人々や学校生活の楽しさを1年生にわかりやすく教える絶好の機会となります。1年生にとっては、先輩から学校生活を支えている人々について教えてもらうことで、学校に関心を持ち、楽しく学校生活を送ろうとするきっかけとなるわけです。



実は、先週から小さな旗を持って、2年生が校内を歩き、リハーサルしている姿を発見していました。授業中なので、小声で練習している姿がとても可愛かったです。さて、当日ですが、校長室前で2年生の子供が1年生にクイズを出していました。「この校長室で働く、校長先生の名前は何でしょうか。①ひらのおさむ先生、②あらきたかのぶ先生、③なごしゆうか先生。正解は②のあらきたかのぶ先生です。」そうすると、1年生は「イエーイ!」と言って喜んでいました。学校生活の楽しさを教える活動を通して、1年生と関わろうとする態度が立派な2年生でした。また、頼りになる上級生の存在に気付いた1年生でした。

## 天気を読む、「情操」を育む

雨の日に朝から交通指導に立っていると、傘を持たずに濡れたまま、登校してくる子供がいます。また、天気予報で、午後から雨が降ると予報が出されている日に、傘を持ってこない子供もいます。今は、インターネットを使って天気・気象情報をすぐに入手できるようになってきました。ほとんどの天気情報のトップページでは、天気予報が見られるようになっています。

これから雨の季節がやってくる前に、自分自身で天気を予報してくれる子供たちが増えることを期待しています。そうすることで、天気の変化から、季節の移ろいを感じることができるようになります。また、データだけに頼らないで、実際に空気を肌で感じることの大切さも味わってほしいです。

草花や野山に見る季節の移ろいや季節ごとに変わる鳥や虫の鳴き声、旬の美味しい食べ物、年中行事など、四季を味わうとき、私たちの五感フル活動します。まさに「帯西ブルー」が子供たちの心の中に登場します。帯西ブルーが登場したとき、つまり子供たちが美しいものやよいものに触れたときは、感動する心が生まれます。これは、「情操」を養うことに繋がります。

この情操教育は、「感情や情緒を育み、創造的で、個性的な心の働きを豊かにするための教育」「道徳的な意識や価値観を養うことを目的とした教育」です。情操教育は、今後ますます注目されていく「人間力」や「生きる力」を育みます。子どもたちには、季節を敏感に感じ取ってもらいたいものです。